

# おしんめいく 富山

第 5 号  
令和 6 年 5 月  
日本栄養士連盟富山県支部

## ご挨拶

### 参議院議員 堂故 茂氏



日本栄養士連盟富山県支部の皆様方には、  
日頃より大変お世話になっており心より感謝申し上げます。

県民の健康維持・増進、そして富山県が掲げるウエルビーイングの推進を図るためにも栄養に関する専門知識とノウハウを持つ貴支部のご活躍が大いに期待される所でございます。

さて、元日に能登半島地震が発生し、能登地域はもとより北陸三県に甚大な被害が及びました。震災でお亡くなりになられた多くの方々のご冥福をお祈し、被災されました全ての方に心よりお見舞いを申し上げますとともに、復旧、復興に向けて全力で取り組むことをお誓い申し上げます。

私は、昨年 9 月の第 2 次岸田内閣第 2 次改造内閣において、国土交通副大臣兼内閣府副大臣兼復興副大臣を拝命いたしました。内閣ではその職務遂行に全力を注ぎ、特に災害の復旧復興、そして国土強靱化に向けて更なる努力をして参ります。

今般、自民党の政治資金の不適切な処理につきまして、国民の皆様への政治不信を招く結果となりましたことを大変重く受け止めております。私たちも反省の上に立って再発防止と信頼回復に努めて参りたいと存じます。これからは私の政治テーマであります「ふるさとに根っこがあるひとづくり国づくり」に邁進して参りますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴支部の益々のご発展と原田支部長をはじめ会員各位のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

## 支部長挨拶

### 日本栄養士連盟富山県支部支部長 原田 澄子



令和 5 年度、栄養士連盟の役員改選を富山県栄養士会に併せて行いました。

連盟の活動目的は、管理栄養士・栄養士の業務、身分の向上にあります。

栄養士会が政策提言をし、連盟が政治活動を行い、お互い役割分担をしながら連携し、身分向上につなげていくことです。管理栄養士・栄養士の業務を理解していただけるよう活動をおこなってまいりますので、会員の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

## 衆議院議員 田畑裕明氏との意見交換会

去る令和5年8月12日（土）ホテルグランテラス富山にて、田畑裕明議員と連盟役員との懇談会が開催されました。

田畑議員からは国政報告として、中心的な役割を担われている「来年度トリプル改定」に関連する「賃上げ」「食事療養費増額の動向」のほか、「マイナンバーカードの課題」「少子化対策としての児童手当支給拡充案」など様々な角度から貴重なお話を賜りました。連盟からは、各事業部の課題やそれを踏まえた要望について報告し、富山県の栄養士が抱える課題を共有させて頂き充実した懇談会となりました。



## 富山県議会議員 種部恭子氏ご講演 「女性の活躍を支える女性の健康について」

令和5年11月14日（火）に開催された第2回役員会において、種部議員より富山の風土の中で女性が活躍するための女性の健康についてお話しを伺いました。

「共働きが多い富山県の女性は仕事・妻・嫁・母と何役も担っており、世界で最も睡眠不足で認知症のリスクが高く、更年期以降の身体の衰えにより要介護になる可能性が高い状態である。

そして、そのような母親の様子を見て、県外へ進学した女性が帰ってこないことは富山県の人口対策の大きな問題となっている。このような状況を考えたときに、女性が『仕事・夢の実現・子供を持つこと』をあきらめずに活躍できるための取り組みとしてプレコンセプションケア（妊娠前の健康管理）が注目されるようになってきた。（中略）」

種部先生はプレコンセプションケアの指針を策定するために、医師、県議会議員、内閣府の専門調査委員など様々な立場でご活躍されています。質疑応答の中で、富山県栄養士会へ『忙しい富山県の女性を応援するために“買っても罪悪感のないお総菜”を実現してほしい』と宿題をいただきました。食の大切さ、それに携わる管理栄養士・栄養士の仕事について理解してくださっているからこそその課題をいただいたと感じました。

先生の益々のご活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。



## 令和6年度 要望説明及び 意見交換



令和5年9月26日(火)に自民党富山県連の議員の皆様へ、富山県栄養士会・日本栄養士連盟富山県支部から予算要望及び意見交換の機会を賜りました。

以下に各事業部からの要望及びこれまでの成果等を報告いたします。

### 医療

不足する診療報酬算定に必須の管理栄養士確保のため、県内に管理栄養士養成校を設置。

### 学校健康

児童生徒の食に関する健康上の多様な問題に対応するため、栄養教諭の増員、1校1名の正規栄養教諭配置。

### 公衆衛生

防災計画に基づくマニュアル整備を防災担当と協働で進め、緊急性が高い要配慮者への栄養・食支援活動の充実を図るため、行政管理栄養士の増員・配置。

### 福祉保育

乳幼児の栄養・食生活の適切な支援のために、県主管課・市町村・保育所等に管理栄養士・栄養士の配置。

### 福祉施設

管理栄養士の複数配置にて、より適切な栄養管理実施が可能となるよう、人件費に見合う介護報酬の増額。

### 勤労者

企業に産業栄養士、労働安全衛生法に管理栄養士の配置に向けた支援。

### 地域活動

全ての医療機関・診療所で栄養指導の導入推進及び「栄養ケア・ステーション」の運営支援。防災意識向上への啓蒙活動及び災害時に活動できる人材育成への支援。

### 研究教育

管理栄養士養成校の設立と、県内での活躍の場を広げるための雇用拡大支援。

### これまでの成果等

- ・日本栄養士連盟等の働きかけで、医療法の中の医療従事者に管理栄養士・栄養士が追加
- ・管理栄養士養成校設置の必要性を県知事や関係課と共有。
- ・平成18年度に県内で栄養教諭が1名誕生し、今年度58名が配置。
- ・これまでの活動実績を評価され、令和6年度診療報酬改定にて、居宅療養管理指導の条件が緩和。今後、ますます管理栄養士・栄養士の活躍の場が増えることが期待。

富山県介護支援専門員協会×日本栄養士連盟富山県支部 座談会

～介護支援専門員協会会長 令和6年1月28(日)開催  
坂東 みゆ紀 氏と地域支援について語る～



■新年早々発災した能登半島地震では、介護支援専門員協会はどのような支援をされたのでしょうか？

—— 富山県にも1月第2週に第一陣として80数名の方を、引き続き現在も100名以上の方が富山県の施設に入所されるなどの介護サービスにつなぐ支援をしています。また、石川県内の第一次避難所での相談等の支援活動も行っています。

■日頃の業務で管理栄養士との連携が必要と感じられることはありますか。

—— やはり医療機関を退院後、在宅での疾患管理が必要なケースです。調理指導を含めた支援をお願いしたいのですが、どこに管理栄養士がいらっしゃるかわかりにくいですね。個人的には、介護支援専門員協会と栄養士会がコラボすることも食堂ならぬ大人食堂を実現したいと思っています。

■政策提言や課題提起を行う際に、会員の声や実態把握、関係団体等との協議・連携について、どのようにされていますか。

—— 会員の課題は、地域ごとに主任ケアマネジャーが集約すると同時に支援も行います。どの地域に誰がどのような困り事があるのか調査し、数字で具体的に示します。日ごろから医師会や行政との風通しの良い関係づくりも大切にしています。

**「連盟の働きかけは行政を動かすきっかけになります。これからも連盟の活動にご理解・ご協力のほどよろしくお願いたします！」**

連絡先

住所：富山市安住町5-21 富山県福祉会館3階  
公益社団法人 富山県栄養士会事務局内 TEL：076-442-6057（代）